

心斎橋大学 2022 年度 秋期開講コース・ゼミのご案内

本紙に、秋期の開講講座についてご紹介致します。ご不明点や確認事項がありましたら、お気軽にスタッフにお声掛け下さい。メール・お電話でも随時お答え致します。ご希望の受講クラスについては、別紙にご記入の上、事務局にご提出下さい。秋期入学生も迎えますので、お早目のお手続きをお願い致します。

お申込みは、10月20日迄にお願いします

- *お申込・受講料のお支払いを持って、お席を確保します*満席になり次第、締め切り致します*
- *ご登録内容の確認(別紙又はフォーム送信)は、皆様ご協力願います*

この秋の News !

- ◇ 本科小説コースの担当に、小説家の水沢秋生先生が加わって下さいました!
- ◇ 専科に俳句講座を新設しました!

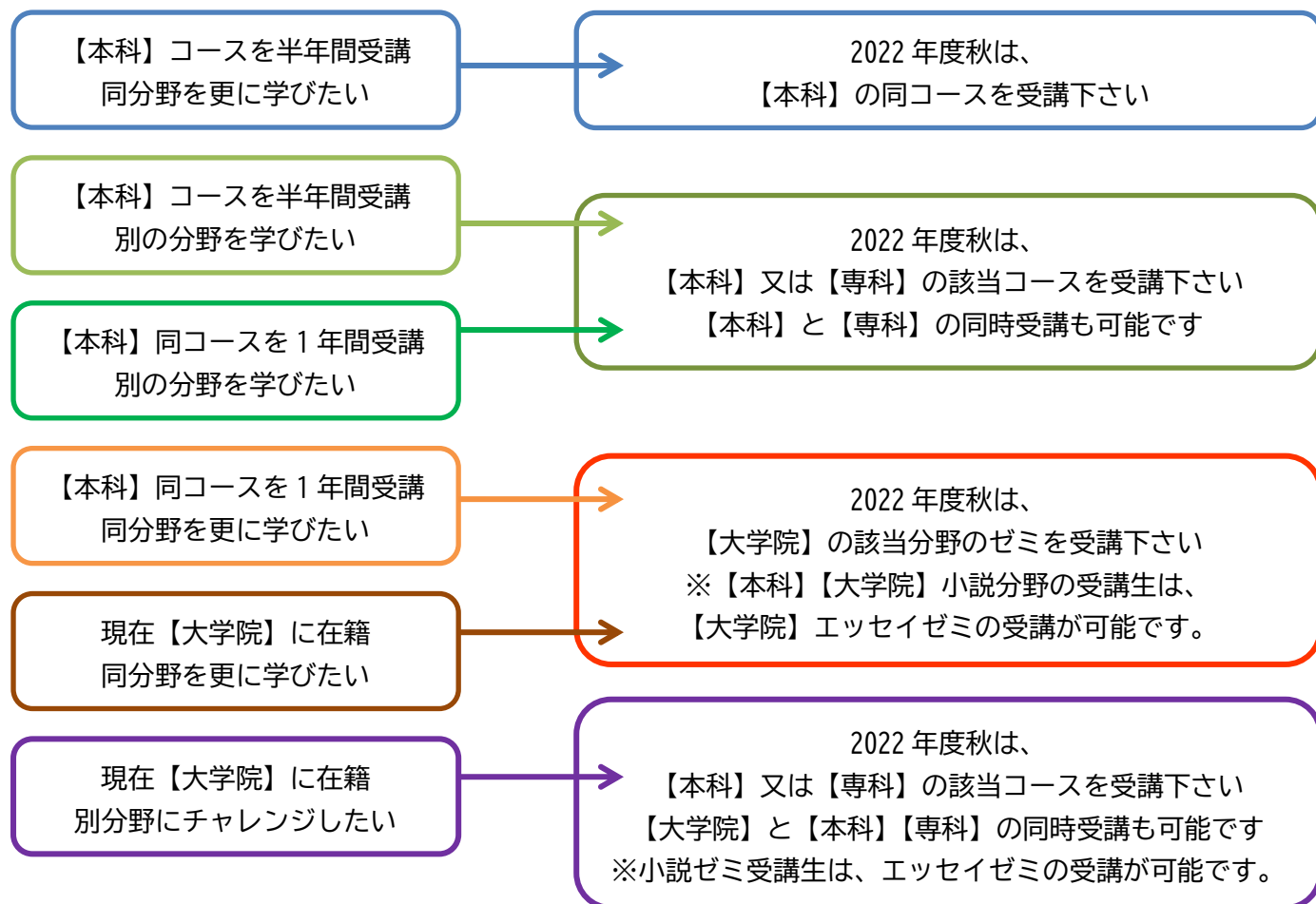
●受講の目安・フローチャート

【本科】の上位クラスとして、【大学院】があります。【本科】と【大学院】は、春期と秋期の同時期に開講し、公開講座や特別講義等のイベントを合同で行うなど、カリキュラムも連動しております。

【専科】は【本科】【大学院】と連動せず、開講時期・期間も様々です。

【本科】の各コース担当講師は、春期と秋期で交代します。1年間学んで頂くことで、より多くの講師の指導を受けて頂くことが出来、筆力アップにつなげることが出来ます。

【大学院】には複数の講師のゼミがあります。各ゼミは月に1回ですので、組み合わせて受講頂くことで、ご自身なりのペースで学び続けて頂く事が出来ます。また、春と秋で開講するゼミが異なります。



●受講タイプについて… 来校受講・オンライン受講・ビデオ受講

本科と大学院では、講義ごとに、「来校受講」「オンライン受講」を選択頂けます。ご都合や体調に合わせて受講タイプを選択なさってください。また、ご欠席時には講義を録画した「ビデオ」を配信しますので、無理なく、無駄なくお続け頂くことができます。【対応コースを示します】

○オンライン受講について（Zoom） 【本科】【大学院】【専科：放送作家】【専科：俳句】

インターネット環境と、パソコンやスマホ等あれば、ご自宅などからリアルタイムで講義に出席頂けます。接続テストをご希望の方は、お気軽にご相談下さい。オンライン教室 ID 等、受講方法については、開講時に改めてご案内致します。

○ビデオ受講について 【本科】【大学院】【専科：放送作家】【専科：俳句】

来校、オンライン受講もご無理な方には、講義を録画してインターネット配信致します。視聴用 URL とパスワードをメールでお知らせしますので、ご自宅でご都合の良い時にご覧下さい。

●公開講座・特別講義について

本科・大学院では、書くこと、創作することを広く学んで頂く為に、特別講義と公開講座を設けております。
◎特別講義と公開講座は、各コースの開講曜日に関係無く、全校合同で実施致します。

○特別講義について 【本科】【大学院】

著名な作家をはじめ映画監督、編集長、ディレクターなどメディアで活躍している方々を講師としてお招きします。様々な分野から、広い知識を得ることを目的に行います。
(過去にお招きした講師：川上未映子氏、姫野カオルコ氏、鎗木蓮氏、長嶋有氏、村田沙耶香氏、吉村萬吉氏、黒川博行氏、朝井まかて氏、木下昌輝氏、角田光代氏、川越宗一氏 など)

【実施回数】年に2回程度（春期1回・秋期1回）を予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科のカリキュラムには含まれません。

○公開講座について 【本科】【大学院】

皆様の好奇心を刺激する講義、引き出しを増やす為の講義を企画致します。特別講義よりも講師との距離を近くし、より多くの作家や文化人、書籍・出版関係者の生の声をお聞き頂きたく、講師としてお招きします。（予定講師：作家・脚本家・構成作家・記者・編集者等）

【実施回数】春期4回・秋期4回を予定、各回昼クラス・夜クラスを開講予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科のカリキュラムには含まれません。

●クラス編成・振替受講について

- ◆ いずれのクラスも、継続生とコース変更や進級で新たに入られる方が合同で学びます。（本科・専科では、新入生も受付致します）複数クラスがあるコースについては、振替受講が可能です。
また、本科・大学院・専科は重複して受講する事が出来ませんが、大学院に関しては、一定基準を満たした方のみ受講頂けます。
- ◆ 進級・継続において、入学金は必要ありません。本科と専科の入学金は異なりますが、本科・大学院の受講生は、専科入学金は必要ありません。専科受講生が本科を受講する場合、入学金差額を申し受けます。

●本科について

本科には、5つのコースがあり、学びたい分野に応じたコースを選択頂く事が出来ます。
各コースの開講期間・講義回数・受講費用は共通です。

開講期間：秋期 2022 年 11 月～2023 年 4 月 予定

講義回数：20 回（各コースカリキュラム 15 回・特別講義と公開講座計 5 回）（90 分／回）

受講料：96,000 円（税抜） 教務・教材費：5,000 円（税抜）…いずれも 1 コース選択の場合
※5 回払いもご利用頂けます。※消費税・受講費用計については、P13～をご確認下さい。

●本科の各コースについて ～担当講師の指導方法・内容～

本科：文章・エッセイ コース

Start 11/14（月）・11/19（土）

春期に比べ、課題量は少し増えますが、楽しんで文章を書く、様々な切り口で文章を書くことにチャレンジする、自身の文章をじっくり推敲して磨いていくことをサポートするカリキュラムになっています。

【開講曜日・時間】 月曜昼（14 時）クラス、土曜昼（14 時）クラス ※振替受講可

・ 担当講師：武部好伸先生・林禧男先生・藤田富美恵先生 … 各 5 回

武部好伸 先生より／エッセイスト・作家 課題有・個別評有

日記は別として、どんなジャンルの文章でも、人に読んでもらわなければ意味がありません。そのためには、「独りよがり」から脱却し、文章作成上の最低限のルールを守る必要があります。基本を押さえれば、あとはそれをいかに応用するかです。エッセイは自分の感性を最大限に活用し、具体的にわかりやすく書くことが求められます。とりわけ観察力と描写力が重要です。時にはインタビューや取材にチャレンジすることもあります。そのノウハウを伝授したいと思っています。さらに各自で作成した原稿を受講者全員で読み合い、どのように添削されたのかを知ってもらいます。きっと良い刺激を受けるはずです。講義では、体験談をまじえ大所高所から文章作成に関するさまざまな事柄をお話しさせていただきます。最終的には文章を書くことが大好きになってもらいたいです。

林禧男 先生より／脚本家・作家 課題有・講義内講評有

学ぶ、という言葉は「真似が（まねが）」が変化したものと言われています。いい文章が書けるようになるには、どんな方法があるのでしょうか。森鷗外は、「春秋左氏伝」を繰り返し読みなさいと言いました。また、丸谷才一は名作を読みなさいと言っています。これらの助言はとりもなおさず「真似が」ことにほかなりません。いい作品を読むことはもちろんですが、畳の上の水練では意味がありません。そこで、受講生には実際に短文（エッセイ）を書いていただき、それを添削することにします。文章を書くことは苦しいことですが、反面楽しいことでもあります。受講生には書く習慣を身に付けてほしいと思います。

藤田富美恵 先生より／児童文学作家・エッセイスト 課題有・講義内講評有

人に読ませることを意識した文章に仕上げるコツ、書き方を丁寧に指導します。エッセイに書く値打ちのある素材とは、書くときに気を付けること、書く流れ、と順に解説し、実際に書いてみます。提出作品は、添削・講評を添えてお返しします。また、提出作品を教材として使用し、よりよい作品に仕上げる推敲の方法を伝授します。

⇒ 事務局より

思いもよらなかったテーマでの課題指示に、新鮮な気持ちになる方が多いです。楽しく、新しい書き方を学ぶことが出来ます。春期に比べてやや厳しいご指摘もあると思いますが、受講後はレベルアップするはずです！

春期に比べて講義の割合が多く、新たな知識を得ることができるでしょう。もちろん、小説を書いて提出・講評を受けて頂く機会もあります！

【開講曜日・時間】 火曜 昼（14時）クラス、夜（19時）クラス ※振替受講可

・ 担当講師：楠本ひろみ先生・北野勇作先生・水沢秋生先生 … 各5回

楠本ひろみ 先生より／脚本家

課題有・講義内講評・個別評有

【指導予定：個々に書きたい物語を完成させる為の課題指示、プロットを完成させます】

このクラスでは、小説を書くために必要な、「物語作りの基礎」をお伝えします。そもそも物語とは何なのか、主人公のキャラクター設定に必要なことは何か、物語の骨組みはどう作るのか、プロットとあらすじは何が違うのか…こういった物語のベースを学ぶことによって、その上に豊かな表現、個性的な文体といった小説の要素を積み重ねて行くことができると私は考えています。一度しっかりと物語作りの基礎を知っておきたいと言う方は、是非この機会にご参加ください。物語と意欲的に向き合いたい方をお待ちしています。

北野勇作 先生より／小説家

課題有・講義内講評

【指導予定：小説の書き出し、マイクロノベル、5～6枚の短編を提出・全員配布・講義内講評】

小説というのは、なかなか設計図通りにいきません。またきちんとした設計図をいつまでも描くことができなくて、なかなか書き始めることができない、というようなことが起こります。そういう時にどうすればいいのか。どう考えればいいのか。書きながら考えるのはどうすればいいのか。そういう自分が書いている小説との付き合い方みたいなことを、一緒に考えていきたいと思っています。

水沢秋生 先生より／小説家

課題有・講義内講評



【指導予定：10枚の短編を提出・全員配布・講義内講評】

小説を書くためには資質や才能も必要ですが、それがすべてではありません。どんな人にもその人にしか書けないものがあるはず。ただただの何かを見つけるためのお手伝いができればよいと思います。小説を書くために必要な要素についての説明と、どのような点に注意すべきか、具体的な書き方について解説します。

✍ 事務局より ✍

毎年満席となる人気のコース・クラスです。秋期では、特に物語の構成について学ぶカリキュラムがあります。いいアイデアは思い浮かぶけれど、最後まで書けない、物語が破綻するなどのお悩みのある方にお勧めします。また、春期で書かれた作品を見直してみる機会にもなります。今年度より水沢秋生先生が講師陣に加わって下さいました。是非、受講下さい。

ドラマ脚本・舞台脚本について学びます。構えず、とにかく書いてみましょう。台詞で物語を展開する面白さ、映像や舞台演出で魅せる方法を指導します。ラジオドラマについても取り上げます。

【開講曜日・時間】 月曜夜（19時）クラス

・ 担当講師：林千代先生（講義回数：8回）・北林佐和子先生（講義回数：7回）

林千代 先生より／脚本家

課題有・講義内講評・個別評有

楽しくなければ、ドラマではありません。良い作品とは、誰が演じて面白いエンターテインメント作品です。このコースでは、ドラマの発想からストーリーの構築、プロットから構成、ハコ書き、シナリオの書き方やテクニック、直しの技術迄を丁寧にかつ総合的に指導します。特に重要なのは、テーマです。

テーマの重要性を認識し、ヤマ場にもってくる意義を知りましょう。また、人物設定の中では、主人公に対する人物設定とリアクションが成功の秘訣となります。個々の作品・状況を確認しながら、順を追って指導しますので、安心して受講して下さい。

北林佐和子 先生より／脚本家

課題有・講義内講評

脚本は設計図といわれます。つまり小説とは違い、文章そのものが完成品ではない、脚本とは、演技や演出など力が幾重にも重なって、ひとつのカタチを為すものです。しかし舞台とテレビ・映画では、その設計図の書き方が少し異なります。本講座では舞台脚本の基礎を学びながら、創作の楽しさを感じていただきたいと思います。

事務局より

各講師より、課題指示がありますので提出して下さい。提出課題・脚本は基本的に全員に配布します。クラス内で講師からのアドバイスを共有します。小説と脚本では書き方が異なりますが、物語を創る点では同じです。創作の一つの方法として、脚本も学んでみてはいかがでしょうか。

本科：児童文学 コース

Start 11/19 (土)

春期では物語の創作について、秋期では絵本作家の視点から絵本の構成やキャラクター設定についても指導します。実習も盛り込みながら楽しく取り組んで頂けます。

【開講曜日・時間】 土曜朝（11時）クラス

・ 担当講師：中田弘司先生（講義回数：7回）・あんずゆき先生（4回）・北ふうこ先生（4回）

中田弘司 先生より／イラストレーター・絵本作家

課題有・講義内講評

絵本、イラスト、文章、編集デザイン等の制作の経験から、文章だけではなく絵本の構造や考え方等を合わせ、アイデアをより良く伝える為に、実際の制作者の視点で指導いたします。期間を通じて、オリジナルの絵本ラフをつくり合評会をします。各回の授業ではキャラクター、展開、構成等のテーマを設け、絵本制作に必要な各課題を制作することで、絵本に対する視野を広げ、具体的な制作のアドバイスをします。

あんずゆき 先生より／児童文学作家

課題有・講義内講評

まずは、児童文学の基礎知識や物語の構成について講義します。以降は、毎回数名～5名程度の方の提出作品を合評・講評します。提出作品は添削してお返ししますので、アドバイスを参考にしてブラッシュアップして下さい。個々のレベルや感性に合わせて作品指導を行いながら、皆さんに必要なこと、知っておいて頂きたいことなどをお話ししていきます。

北ふうこ 先生より／児童文学作家

課題有・講義内講評

初回は、児童文学を書くために必要な基礎知識について、以降の講義では、提出作品の講評を中心にお話します。一つ一つの作品を丁寧に拝見し、良い点、悪い点、改善点をできるだけ具体的にアドバイスします。合評形式でたくさんの方のご意見や質問にも答えながら、進めて行こうと思います。

事務局より

各講師より、課題指示がありますので提出して下さい。枚数は受講人数により異なりますが、5～30枚程度です。毎回全員が提出するのではなく、グループに分けて提出頂きます。各講師に1回は作品提出の機会があります。提出作は全員に配布し、講師からのアドバイスを共有します。また、互いに感想を述べあうこともあります。和気あいあいと楽しく創作に取り組む方が集まるクラスです。

特に秋期は、絵本のカリキュラムがあります。毎年素敵な作品が出来上がり、発表会も行っています。男性も是非どうぞ！

ジャンル小説の基礎知識の習得から短編を書き上げる迄を、1年間で学びます。春期と秋期に、それぞれスタートクラスを設け、最初の半年間（Ⅰ）で基礎知識を学び、次の半年間（Ⅱ）で小説を仕上げます。
※ 両クラス、オンラインのみ（欠席時ビデオサポート有）です。心齋橋大学教室からのオンライン参加可。

【開講曜日・時間】 秋期からの受講生（Ⅰクラス）は、土曜昼（14時）クラス
春期からの継続生（Ⅱクラス）は、土曜夕（16時）クラス

・ 秋期スタートクラスのカリキュラム 担当講師：田中啓文先生・牧野修先生

担当講師：田中啓文先生（8回）・牧野修先生（7回）

ミステリ・ホラー・ファンタジー・SF・時代小説等のエンターテインメント小説の書き方について、基礎知識の習得（講義）と演習（実作講評）を繰り返す為、講義と作品提出のバランスが良いカリキュラム構成です。ステップを着実に上がっていくことが出来ます。

・ 春期より継続される方の為の「秋期」カリキュラムの特徴

担当講師：田中啓文先生（8回）・牧野修先生（4回）・友野詳先生（ライトノベル講義／3回）

公募入選・デビューを目指し、応募や投稿の仕方についても指導します。プロット、キャラクター設定などの小説を書き上げる為のプロセスを順に確認しながら、講師指導のもと、50枚の短編小説を積み上げ形式で仕上げます。

田中啓文 先生より／小説家 課題有・講義内講評

いわゆるジャンル小説は、一般文芸や純文学と異なり、それぞれのジャンルに固定のファンがいます。たとえばミステリしか読まないとか、時代小説しか読まないといったうるさがたの読者が相手なので、彼らを満足させ、納得させる書き方が要求されます。

この講座では、そんな読者を納得させるベーシックな部分から解説し、それを踏まえて、短編小説を一本仕上げるという具体的な作業をやっていこうと思っています。

今、出版界には数多くの新人賞があり、ジャンル小説の作家としてデビューするには非常に恵まれた状況だと思います。しかし、新人賞に応募するには最低 50 枚の短編を書くことが必要です。目標は、最終回までに「新人賞に応募するレベルの 50 枚の短編を書き上げる」です。

皆さんが書きたいと思っているジャンルの作品を、段階をおって完成させましょう。ジャンル小説を書きたいと思っているかたはぜひご受講下さい。

牧野修 先生より／小説家 課題有・講義内講評

ホラー、ファンタジー、SF。どれも特有のお約束や決まり事がいろいろあります。それは、同時にジャンルの魅力でもあります。人を怖がらせたり驚かせたり、そこには娯楽小説の魅力が一杯詰まっています。小説の楽しみ方を知り、書くことも楽しむ。そんなことを講座では話していきます。ぜひ体験してみてください。

✍ 事務局より ✍

小説を書いたことが無い方もチャレンジしやすいコースです。エンタメ小説を書く為に必要な知識を惜しみなく伝授下さいます。また、小説の書き方についても実践的な指導が受けられます。小説コースを受講された方にも是非受講頂きたいコースです。書ける“幅”は広い方が良い！作品に新たなスパイスをプラス♪

ジャンルⅠを受講された方は、短編 50 枚にチャレンジして頂きます。企画の段階から、田中先生のアドバイスをもとに練り上げていきます。先生と二人三脚で完成度の高い作品を仕上げましょう。これまでに何作か完成させている方も、新しい発見があります。何より自作について、プロの小説家と深く語り合える貴重な機会となります。

●大学院について

本科の上位クラスとして大学院があります。大学院の各ゼミは完全担任制です。本科で様々な指導を受けて頂いたことで、ご自身の方向性も定まってこられるでしょう。書くことを更に深く学びたい、公募入選・プロデビューを目指したい方は、是非受講下さい。一度大学院に進級されても、本科のカリキュラムを受講頂くことが出来ます。また、本科・専科のカリキュラムは、大学院と並行して受講頂くことも可能です。

◎大学院の受講資格について

①大学院ゼミの同分野を本科で学ばれた方、②心齋橋大学で1年以上学ばれた方、に受講頂けます。ただし、小説コースを受講された方は、大学院のエッセイゼミ（古川先生・武部先生※春期のみ）の受講が可能とします。詳しくは、スタッフにご確認下さい。

●大学院の概要

開講期間：2022年11月～2023年4月 予定

講義回数：11回～（各ゼミの講義6回、特別講義1回、◎公開講座4回）

◎1ゼミ受講の方は、公開講座4回のうち来校・対面受講で1回、オンライン3回で全4回を受講頂けます。2ゼミ以上を受講の方は、全4回を来校・オンラインいずれでも受講可とします。

受講料：45,000円（税抜） 教務・教材費：3,000（税抜） …いずれも1ゼミ選択の場合

※選択ゼミ数により、受講費用総額が異なります。※月払いもご利用頂けます。

※消費税・受講費用計については、P13～をご確認下さい。

※受講されるゼミの担当講師以外への講評・添削依頼の受付は出来ません。

●大学院のゼミ（クラス）紹介 ーゼミ・クラスをお選び下さい。2ゼミ程度の受講がお勧めです！

大学院：小説・エッセイ分野

●難波利三 先生ゼミ 【春】【秋】 Start 11/5（土）・11/10（木）
毎月第1 木曜昼（14時）クラス、土曜夕（16時）クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説） 【受講対象】旧専門科、現創作・小説コースで1年間学ばれた方

- ・ 毎回、即席で与えられたテーマで書く。時間的、空間的に限られた状況で最大級の集中力と、全知全能の結集が必要となり、その繰り返しは創作力アップに繋がる。毎回完結でも、続編でも可。
- ・ 創作の書き出しと終わりの大切さを学ぶ。
- ・ 課題作以外の作品講評依頼（コンクール応募予定作など）については、ご相談下さい。

●丹波元 先生ゼミ 【春】【秋】 Start 11/17（木）・11/19（土）
毎月第3 木曜昼（14時）クラス、土曜夕（16時）クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説）・エッセイ

【受講対象】旧専門科、現創作・小説コースで1年間学ばれ、かつ丹波先生の指導を受けられた方

- ・ 毎回、与えられたテーマで、エッセイまたは小説を選択して期日までに課題提出。優秀と認められた作品を発表、講評する。
- ・ 文章の基本は、名作を読むことにある。名短編小説や名エッセイを教材として取り上げ、その解説を行う。読むべき名作をお教えします。
- ・ 課題作以外の作品講評依頼については、コンクール応募予定作のみ相談可。

●田中哲弥 先生ゼミ ★秋期のみ開講のゼミです★

毎月第3 土曜夜(18時)クラス

Start 11/19(土)

【カリキュラム概要】創作(小説)(実作合評クラス)

【受講対象】旧専門科の小説分野、ジャンル小説コース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに在籍されている方・されていた方 ◎田中哲弥先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・作品ジャンル及びテーマは自由。1回の提出枚数は50枚程度とする予定ですが、クラス受講人数や作品提出状況により、適宜調整します。
- ・基本的には、6回の講義のうちに1作を完成させること。(毎回、完結作でも可)
- ・皆さんの作品発表の場、プロから直接指導が受けられる、熱意溢れる場となることを目指します。

◎担当講師よりメッセージ【初回課題について】

本科コースで実作を書く事の難しさ、楽しさを感じていただけたと思います。また、作品を書き上げることの達成感も味わっていただけたかもしれません。このクラスでは、あらすじから始まり、作品を仕上げていく、具体的な過程のお手伝いをします。それぞれの自由な発想で作品を完成させていきましょう。初回講義に向けて、書きたい物語のあらすじ、または本編を書いて11/5(土)迄に提出して下さい。

●増山実 先生ゼミ ★秋期のみ開講のゼミです★

毎月第1月曜(※11~1月は変動) 月曜夕(16時)クラス・夜(19時)クラス Start 11/14(月)

【カリキュラム概要】創作(小説)(実作合評クラス)

【受講対象】旧専門科の小説分野、ジャンル小説コース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに在籍されている方・されていた方 ◎増山先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・作品ジャンル及びテーマは自由。1回あたり10枚程度の提出とする。
- ・続編可。期間中に完結させたい方は、5回で完結させることを目指して下さい。(完結しなくても問題ありません。最後の講義で以降の展開についてご相談下さい。)

【初回課題について】10/31(月)迄に、「書きたい物語のあらすじ」と、その物語を原稿用紙何枚程度で書くことを想定しているのかを書いて事務局に提出して下さい。(全員に配布予定です)

✍ 事務局より ✍

田中先生、増山先生の大学院ゼミは秋のみ開講致します。受講希望者が集中する為、お早目にお手続き下さい。長編にチャレンジしたい方は、田中哲弥先生のゼミをお勧め致します。増山先生のゼミは、2クラスで募集致しますが、クラス希望は先着順と致します。続編をお互いに読み、講評を共有する為、ご自身のクラスで受講して下さい。本科小説コースと同等又はそれ以上のペースで書いていきたい方は、2ゼミ受講がお勧めです。

●古川嘉一郎 先生ゼミ 【春】【秋】

Start 11/8(火)

毎月第2 火曜朝(11時)クラス

【カリキュラム概要】エッセイ

【受講対象】旧専門科、現文章・エッセイコース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに在籍されている方・されていた方 ◎古川先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・公募情報からピックアップ、または自由課題(基本的にはエッセイ)とする。課題作は当日、受講生全員に配布。各自、自作を読み上げ、講師がその内容や構成、文章表現についてアドバイスします。
- ・課題作以外の作品についても、気軽に相談して下さい。形にとらわれず、意欲的に書きましょう。

大学院：脚本分野

●林千代 先生ゼミ 【春】【秋】
毎月第1 金曜夜（19時）クラス

Start 11/4（金）

【カリキュラム概要】脚本

【受講対象】旧専門科、現脚本コースで1年間学ばれ、かつ林千代先生の指導を受けられた方

- ・ 発想からプロット、シナリオ創作のプロセスを今一度復習しながら、プロットの書き方、人物の配置、魅力あるキャラとは、起承転結…を指導します。
- ・ 合評から書き直しのテクニック、アドバイス。面白くするコツ、魅力あるキャラ創り、ドラマをラストまで引っ張る構成の妙とは。テーマとアンチテーゼ、始めと終わりのドラマの合致の大切さを学ぶ。
- ・ 映像の特性を学び、最大限に生かすコツ。いかに書くか、書かないか！テクニックをトータルに学ぶ。
- ・ コンクール受賞へ向かって、してはいけない書き方、テーマの重要性、キャラの魅力の出し方を学ぶ。

●楠本ひろみ 先生ゼミ 【春】【秋】
毎月第3 金曜夜（19時）クラス

Start 11/18（金）

【カリキュラム概要】脚本

【受講対象】現脚本コースで1年間学ばれ、かつ楠本先生の指導を受けられた方

- ・ 基礎を復習しながら、企画からプロット、構成、脚本、改稿までを通して、作品を仕上げます。作品を仕上げる事が出来ない方には、どこに問題があって前へ進まないのか、どこまでなら出来るのかを確認しながら、とにかく一本作品を完成させることを目指します。
- ・ コンクール入賞を目指す方には、企画について、「ただ自分が書きたいもの」だけではなく、その企画に新鮮味があるか、独自性があるかといった視点で企画立案ができるよう、「ネタを見る目」「ネタを育てる力」を意識するように促します。また、改稿する力（自作の欠点の気づき、コミュニケーション能力、改善点を作品に活かす能力）を伸ばすことを重点に指導します。
- ・ 映像作品に加え、ラジオなどのオーディオ作品、マンガ原作についても注意点を指導します。

大学院：児童文学分野

●あんずゆき 先生ゼミ 【春】【秋】
毎月第2 土曜朝（11時）

Start 11/12（土）

【カリキュラム概要】児童文学

【受講対象】旧専門科又は現児童文学コースで1年間学ばれ、かつ、あんず先生の指導を受けられた方

- ・ 本科同様、実作指導、合評・講評を行うクラスです。書き続けたい方、コンクールでの入賞を目指す方、出版したい方…、それぞれの目的と個性に合わせた指導を行います。
- ・ 基本的には、ご自身の書きたいテーマで書いて下さい。受講人数や作品の提出数、進捗を確認しながら、提出数や原稿枚数等も適宜調整していきます。無理なく続けましょう。
- ・ 定期的に校外学習やクラス内コンクール等のイベントも行っています。楽しいゼミです。

✎ 事務局より ✎

大学院のゼミは、春のみ開講、秋のみ開講、春も秋も開講…と様々です。上手に組み合わせ、お楽しみ下さい。いずれも月に1回の為、2つのゼミを受講されると、講義や作品提出の機会が月に2回、プラス公開講座が1回となります。本科よりも少し講義ペースが緩やかになり、じっくりと執筆頂けます。

●専科スクールのご紹介

本科・大学院とは別に開講する講座で、コースにより、受講期間・回数が異なります。本科・大学院と並行して受講頂く事が出来ます。説明会・体験授業へのご参加、資料をご希望の方は、スタッフにお申し付け下さい。※消費税・受講費用計については、P13～をご確認下さい。

専科：作詞家養成スクール ★受講タイプ：来校のみ

Start 11/16 (水)

「冬が来る前に」「翼をください」、おはよう朝日テーマソングとして親しまれた「朝（あした）の空」など、多くの名曲に携わってこられた後藤先生による直接指導が受けられます。

【開講曜日・時間】 第1・3水曜 18:30～20:20、1日2コマを実施

【開講期間】2022年11月～2023年4月 【講義回数】20回（50分／回）

【受講費用】受講料：55,000円（税抜） 教務・教材費：5,000円（税抜） ※5回払い可

※作詞家養成スクールは、来校受講のみです。

【後藤悦治郎先生 ご紹介】

1967年 平山泰代とデュエットを組む。1969年「赤い鳥」結成。1974年「紙ふうせん」結成。「竹田の子守唄」「翼をください」「紙風船」「冬がくる前に」等々のヒット曲の作詞・作曲・編曲、歌唱、と幅広く活躍する。テレビ、ラジオの番組テーマ曲、映画、ドラマの音楽制作多数。市町村のイメージソング、社歌、小学校から大学まで全国の校歌も多数制作している。

【カリキュラム】①～⑥を各4コマ実施予定。作詞・実作・添削を行います。

- ① 定型詩 ----- 和歌、連歌、俳句、川柳、都々逸、小唄について。
- ② ブレス ----- 詩の息づき、歌唱の息づきについて。
- ③ 伝承歌 ----- 全国津々浦々で採集・採譜した「うた」の解説。背景を解説。
- ④ フォークソング ----- ボブディラン、P・P・M、サイモン＆ガーファンクルなどについて。
- ⑤ 日本のポップス ----- 赤い鳥、紙ふうせん、阿久悠などについて。

✍ 事務局より ✍

「ことば」「詞」にこだわった講義、指導が受けられます。人情をどう「ことば」にのせるのか、人の心に染み入る「うた」「詞」が書きたい方、表現したい方は是非受講下さい。作詞が初めての方も心配ありません。講義内実習も多く取り入れています。課題作以外の指導も受けられます。

専科：放送作家養成スクール ★オンライン・ビデオ対応

Start 11/12 (土)

放送作家、イベントプロデューサーを養成、業界への就職を目指すコースです。現役の放送作家が直接指導し、業界デビューへとサポート致します。即戦力となるよう指導しており、受講生は次々とチャンスを掴んでいます。※30歳ぐらい迄の方にお勧め致します。

【開講曜日・時間】 土曜 17時～、ほぼ毎週の開講を予定

【開講期間】2022年11月～2023年4月

【講義回数】20回（90分／回）

【受講費用】受講料：100,000円（税抜） ※5回払い可

✍ 事務局より ✍

「岡力商店」代表の岡力氏が直接指導にあたります。在学中から企画を提出し、ミーティング形式で発想力と企画力を磨きます。現場見学や実習も取り入れながら、業界の「今」の情報をお伝えします。業界内では、人のつながりが仕事の獲得につながります。心斎橋大学の放送作家養成スクールは、先輩と仲間を見つける場となります。

わたしたちの日常・非日常には、必ず記録して残しておきたい出来事があるものです。この場合は、その自らの想い、大切な記憶などを俳句形式で表現できるようになる、学びの場です。そのためには必要なものもいくらかあります。俳句の歴史、季語の知識、表現技術などがそれです。実作と並行して学習することが肝要であり、大部分の方にとっての近道でしょう。実作を大切にする講座です。



【開講曜日・時間】 月に2回、第2・4木曜 14:00~15:30

【開講期間】2022年11月~2023年4月 【講義回数】12回(90分/回)

【受講費用】受講料：33,600円(税抜)／教務・教材費：2,000円(税抜)

本科・大学院受講生・修了生 計35,600円⇒33,600円(税抜)

講師：久保純夫／昭和24年(1949)、大阪府生まれ。立命館大学文学部卒。昭和46年「花曜」入会。鈴木六林男に師事。平成16年「花曜」終刊。18年同人誌「光芒」創刊。発行人。20年「光芒」終刊。25年個人誌「儒艮」創刊。昭和61年6人の会賞受賞。平成5年第42回現代俳句協会賞受賞。

句集『瑠璃薔薇館』『水渉記』『聖樹』『熊野集』『比翼連理』『光悦』『フォーシーズンズ++』『日本文化史観』『四照花亭日乗』『HIDEAWAY』『定点観測—櫻まみれ』『植物圖鑑』『動物圖鑑』、評論集『スワンの不安』等。現在、現代俳句協会副会長。関西現代俳句協会会長。西東三鬼賞選考委員。鈴木六林男賞選考委員。個人誌「儒艮」代表。

【講師からのメッセージ】俳句という形式は従来、有季定型として捉えられていますが、画一的に考える必要はありません。言葉の海の中から、自由に選んで句作することも可能です。ただ先ずは、季語と定型を学びながら、この形式でしか得られない恩寵を経験することが大切です。それを実作で学ぶのが、個性を発揮する王道でしょう。想いは共有できます。俳句の鑑賞、作句を実践しましょう。

【カリキュラム】実作・俳句鑑賞をしながら、適宜講義します。

【 季語について・定型について・文体について・近代の俳句について・現代の俳句について 】

俳句の作り方(実作演習)・課題作講評・句会・合評

・実作としての俳句の作り方—ふたつの柱

①経験の積み重ね—換言すれば「記憶」—を核・根幹にして作句する。

②「もの」「こと」にまつわる記憶をさまざまな状況・情景に展開する。

例を示しながら季語・定型・文体等の知識についても触れていきます。

次のような視点、切り口での課題俳句を予定しています。課題俳句については、次の講義に講評します。

●自身の日常を素材とする-1

さまざまな台所俳句…課題俳句 10句

例：句集『四照花亭日乗』より／具合よく呆けていたるオムレット／正統を志したる握り飯

●自身の日常を素材とする-2

愛する人のために…課題俳句 10句

例：句集『比翼連理』より／千両のいづこも深き妻の恩／かたちから忘れゆくなり露の玉

●日常と交差する世界への視点を持つ-1

・眼前の光景と記憶を交差させる。 旅行先での経験…課題俳句 10句

例：句集『HIDEAWAY』より／ひたすらという鷺草の微熱かな／アマリリス愛しき人の密か事

●日常と交差する世界への視点を持つ-2

・眼前の光景と記憶を交差させる。 絵画の鑑賞からの発想そして作句・・・課題俳句 10句

例：句集『日本文化私観』より／藪椿帯の端嚙む狛が居り／天空は日溜りの闇燕子花

●日常と交差する世界への視点を持つ-3

・眼前の光景と記憶を交差させる。 海外詠…課題俳句 10句

例：句集『フォーシーズンズ++』より
／海墜ちるところより我始まりぬ／熱帯の濡れ髪を立ち尽くし

●テーマを設定する-1

・ある対象を設定して群作としての俳句を作る。 櫻をテーマにしてすべての句を作る…課題俳句 10 句
例：句集『定点観測—櫻まみれ—』より／血か露か大斎原の櫻雨／行き掛けの軀を誘う糸櫻

●テーマを設定する-2

・ある対象を設定して群作としての俳句を作る。 同じ季語（言葉）で 3 句作る…課題俳句 10 句
例：句集『フォーシーズンズ++』より
／戦争の真空をゆく蝸牛／蝸牛無音を待むかたちして／片方の臀豊かなる蝸牛

事務局より

かねてよりご希望の多かった俳句のコースが出来ました！俳句を学ぶことで、物事を観察する目、切り口、言葉に対する鋭い感性が養われるのではないのでしょうか。文章表現や言葉に敏感な皆様には、俳句表現もお楽しみ頂けるはずです。楽しく実作しながら、俳句知識をバランスよくお伝えするカリキュラムです。どのコースとも組み合わせ可能です。是非、受講下さい。

自分史・作品集の制作や出版について

Start 随時

心斎橋大学では、自分史や作品集の制作・出版のお手伝いをしております。
課題作品や書き溜めた作品を 1 冊の本にまとめたい方、自分史を講師の指導のもとで書き上げたい方、個々にご提案・お見積り致しますので、お気軽にご相談下さい。

●その他、お願い・ご案内事項 *受講のお申込み前に、下記を確認・ご了承下さい。*

- ・ 講義スケジュールは、10 月中旬から末迄にお配り致します。初回講義日は、本紙をご確認下さい。
- ・ 各コース、クラス、ゼミには、最低開講人数（目安人数：5 名）を設けております。
残念ながら達しない場合は、開講致しませんのでご了承下さい。
- ・ 担当講師およびカリキュラム・講義回数・開講期間は予定です。事情により変更することがあります。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、講義の実施方法を変更することがあります。
- ・ オンライン受講・ビデオ受講の際のインターネット環境やデバイスの準備、利用にかかる通信費等の費用は各自のご負担となります。
- ・ 心斎橋大学のメールアドレス（@shinsaibashi-daigaku ドメイン）から、教材データの配信や、様々なご連絡を致しますので、必ず受信頂けるように設定しておいて下さい。
- ・ 課題作品については、締切日迄に事務局に提出下さい。メール添付・受付への提出、郵送、FAX、いずれでも受付致します。郵送については、締切迄に事務局に到着するようにお送り下さい。
- ・ 作品講評の多いクラスについては、コースメンバーページから閲覧・ダウンロードすることが出来るようにする予定です。コースメンバーページを開設したコースについては、開講時にご案内致します。

事前配布の課題作を含む教材については、ペーパーレス化を進める為、データ配信を基本と致します。受講当日に教室にお越しの方には、プリントアウトした物をお渡し致します。

オンライン受講・ビデオ受講（欠席時含む）下さる方は、配信データ（メール添付・心斎橋大学のホームページにアップ）をご利用下さい。※郵送希望の方は、申込書にご記入下さい。郵送希望の場合、枚数の多い物については郵送致します。ただし、昨今の郵送事情の変化により講義日までの到着をお約束出来ませんので、ご了承下さい。

*** 心齋橋大学 2022 年度秋期 受講費用と講義回数 ***

- ・ ご希望の受講内容については、確認書（又はフォーム）に明記して下さい。確認書のご提出と費用のお支払いは、前後しても結構です。必ず受講生様フルネームでお振込下さい。
- ・ 専科受講生・修了生の方が本科コースを受講される場合、入学金差額 11,000 円（税込）を申し受けます。（専科 開高健文章の世界 修了生の方は、入学金 16,500 円が必要です。）下記に追加してお支払下さい。月払いの方は、1 回目と合わせてお支払下さい。

お支払いは、10 月 20 日迄にお願いします*月払いと比べ 5,000 円お得です

本科 コース	期間と回数	一括払い
- 文章・エッセイ - 創作・小説 - 脚本 - 児童文学 - ジャンル小説Ⅰ・Ⅱ	受講期間：半年 各コースカリキュラム講義：15 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：20 回	受講料：96,000 円 教務・教材費：5,000 円 消費税：10,100 円 一括払い（税込計）：111,100 円

大学院 ゼミ	期間と回数	一括払い
- 難波先生（小説） - 丹波先生（小説・エッセイ） - 田中哲弥先生（小説） - 増山先生（小説） - 古川先生（エッセイ） - 林千代先生（脚本） - 楠本先生（脚本） - あんず先生（児童文学）	受講ペース👉 おすすめです！ ●2 つのゼミを選択した場合 受講期間：半年 各ゼミ担当講師による講義：12 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：17 回	受講料：72,500 円 教務・教材費：4,000 円 消費税：7,650 円 一括払い（税込計）：84,150 円
	●1 つのゼミを選択した場合 受講期間：半年 各ゼミ担当講師による講義：6 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：11 回	受講料：45,000 円 教務・教材費：3,000 円 消費税：4,800 円 一括払い（税込計）：52,800 円

専科スクール／期間と回数	一括払い
放送作家養成スクール 受講期間：半年／20 回	受講料：100,000 円／消費税：10,000 円 一括払い（税込計）：110,000 円
紙ふうせん後藤悦治郎 作詞家養成スクール 受講期間：半年／20 回	受講料：55,000 円／教務・教材費：5,000 円 一括払い（税込計）：66,000 円
久保純夫の楽しい俳句作り 受講期間：半年／12 回	受講料：33,600 円／教務・教材費：2,000 円／消費税：3,560 円 一括払い（税込計）：39,160 円★本科・大学院受講生・修了生 36,960 円

※振込先は P15 をご確認ください。

*** 月払い予定表 * 1 回目のお支払は、10 月 20 日迄にお願いします***

本科 コース	回 数	お支払い期日	お支払い税込額
- 文章・エッセイ - 創作・小説 - 脚本 - 児童文学 - ジャンル小説Ⅰ - ジャンル小説Ⅱ	1 回目	2022 年 10 月 20 日	28,600 円
	2 回目	2022 年 11 月 28 日	22,000 円
	3 回目	2022 年 12 月 28 日	22,000 円
	4 回目	2023 年 1 月 28 日	22,000 円
	5 回目	2023 年 2 月 28 日	22,000 円

受講ペース👉 おすすめです！

大学院 ゼミ 【2 ゼミ選択】	回 数	お支払い期日	お支払い税込額
- 難波先生（小説） - 丹波先生（小説・エッセイ） - 田中哲弥先生（小説） - 増山先生（小説） - 古川先生（エッセイ） - 林千代先生（脚本） - 楠本先生（脚本） - あんず先生（児童文学）	1 回目	2022 年 10 月 20 日	19,250 円
	2 回目	2022 年 11 月 28 日	17,600 円
	3 回目	2022 年 12 月 28 日	17,600 円
	4 回目	2023 年 1 月 28 日	17,600 円
	5 回目	2023 年 2 月 28 日	17,600 円

大学院 ゼミ 【1 ゼミ選択】	回 数	お支払い期日	お支払い税込額
- 難波先生（小説） - 丹波先生（小説・エッセイ） - 田中哲弥先生（小説） - 増山先生（小説） - 古川先生（エッセイ） - 林千代先生（脚本） - 楠本先生（脚本） - あんず先生（児童文学）	1 回目	2022 年 10 月 20 日	14,300 円
	2 回目	2022 年 11 月 28 日	11,000 円
	3 回目	2022 年 12 月 28 日	11,000 円
	4 回目	2023 年 1 月 28 日	11,000 円
	5 回目	2023 年 2 月 28 日	11,000 円

※専科の月払いについては、次ページをご覧ください。

- ・ 本科の複数コース受講、本科と大学院の組合せ、大学院 3 ゼミの組み合わせや、ゼミ追加の費用については、スタッフにご確認下さい。受講回数が増えるほど、お得な費用設定でご案内しております。
- ・ 専科スクールを合わせて受講される場合は、受講費用をそのまま加算して下さい。（専科スクール組み合わせたの月払いについては、別途ご案内致しますので、お申し付け下さい。
- ・ 銀行振込の場合、領収書は発行しておりません。ご入用の方は、事務局にお申し付け下さい。
- ・ 申込書の提出（フォーム送信）・お振込み確認後、3 営業日以内を目安に事務局よりメールにてお手続き完了のご連絡を致しますので、ご確認下さい。

専科スクール	回 数	お支払い期日	お支払い税込額
・ 放送作家養成 スクール ※本科受講生・大学院受講生は、入学金不要です	1 回目	2022 年 10 月 20 日	27,500 円
	2 回目	2022 年 11 月 28 日	22,000 円
	3 回目	2022 年 12 月 28 日	22,000 円
	4 回目	2023 年 1 月 28 日	22,000 円
	5 回目	2023 年 2 月 28 日	22,000 円
・ 作詞家養成 スクール ※本科受講生・大学院受講生は、入学金不要です	1 回目	2022 年 10 月 20 日	18,700 円
	2 回目	2022 年 11 月 28 日	13,200 円
	3 回目	2022 年 12 月 28 日	13,200 円
	4 回目	2023 年 1 月 28 日	13,200 円
	5 回目	2023 年 2 月 28 日	13,200 円

【 振込先 】 三菱 UFJ 銀行／心斎橋支店／普通 4873397 （名義：心斎橋大学）

※受講生フルネームでお振込み下さい。※お振込手数料はご負担願います。

受講のお手続き・ご登録内容確認のお願いについて

本科、大学院、専科スクールと様々なコース・クラスが御座います。
組み合せての受講も可能ですので、スタッフにお気軽にご相談下さい。
ご相談は、来校・お電話・メールにて随時対応致します。

1. 受講に関するご相談 **教室見学・オンライン見学**

来 校：月～土 12時～19時の間で随時、講義前後はご予約頂くことをお勧め致します。
T E L：月～土 12時～19時 担当スタッフ不在の場合は、折り返しお電話致します。
M A I L：随時お返事致します

体験受講・見学をご希望の方は、可能日時をご案内致しますので、お問い合わせ下さい。
本科コースについては、体験ビデオの配信も致します。
大学院ゼミについては、オンラインでの体験受講も受付致します。(進級資格のある方、2ゼミ迄)

2. 登録内容・受講内容確認書のご提出 **10月20日(木)迄**

登録内容・受講内容確認書の必要事項にご記入の上、スタッフにご提出下さい。
※FAX、メール添付(PDF)、フォーム送信(心斎橋大学 HP)でも受付致します。

●フォーム送信でのお手続き(右のQRコードからもアクセス出来ます)

<https://www.shinsaibashi-daigaku.jp/request-3>



3. 費用のお支払い **10月20日(木)迄**

P13～の受講料一覧をご確認の上、お振込下さい。お振込み確認を持ってお席を確保致します。
月払いをご希望の方は、10月20日迄に月払い1回目分をお振込下さい。(2回目以降は毎月28日迄)

秋期のコース・クラスの申込受付は10月20日(木)迄としておりますが、申込書の提出又はフォーム送信と、受講料のお支払をもって先着順に受付し、満席クラスは締切致します。是非、お早目にお手続き下さい。

満席クラス以外は、10月20日(木)以降のお手続きについても受付致しますので、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、教室の収容人数の7～8割を満席として募集致します。

●ご連絡・お問い合わせ先 心斎橋大学 事務局 大阪市中央区南船場3-11-18 郵政福祉心斎橋ビル 2F

受講に関するご相談受付時間：月～土 12時～19時(担当：大出・島谷・平山・内山)

TEL : 06-6252-7000 / FAX : 06-6252-7222
MAIL : info@shinsaibashi-daigaku.jp